

JCSSA

Japan Computer System Seller Association

一般社団法人 日本コンピュータシステム販売店協会ニュース

NEWS

vol.103

2026
Winter

CONTENTS

P. 02 JCSSA Activity Report

第11回新会員歓迎懇親会
管理職研修（後半）
米国エグゼクティブツアー

P. 03 JCSSA Activity Report

第2回・第3回 New Normal AI Business (NNAB)
第3回クラウド勉強会
第2回 AI & クラウド販売会議

P. 04 JCSSA Activity Report

定例セミナー
ヤマハ見学会
ゴルフ交流会
第2回情報システム取引者育成プログラム基礎講座（前半・後半）

P. 05 JCSSA Activity Report

営業提案力研修（前半）
SAJ × JCSSA 共催 第165回 SAJ ビジネスコミュニティ
第14回 NIPPON IT チャリティ駅伝
役員合宿

P. 06 Special Issue

ダイバーシティ推進フォーラム 2025

P. 07 JCSSA Activity Report

第2回セキュリティセミナー
New Member!
新会員紹介

P. 08 JCSSA INFORMATION

JCSSA のイベント

P. 09 JCSSA INFORMATION

理事のオフショット
事務所のご案内

副会長挨拶



一般社団法人
日本コンピュータシステム販売店協会

副会長 玉田宏一

年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

本年も会員の皆様とともに、会員増強をはじめ、業界の課題解決、さらには社会課題の解決に積極的に取り組んでまいります。

昨年は生成AIやクラウドなどの技術が進展し、IT業界を取り巻く環境が一段と変化した一年でした。こうした変革の波を的確に捉え、時代のニーズに応える提案をお客様に提供することこそ、我々販売店の使命であります。

「ITで日本を元気に」。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

2026年1月26日

【発行】日本コンピュータシステム販売店協会広報委員会
【発行人】田辺正昭
【編集人】窪田大介
【編集長】小山敏之
【制作】株式会社BCN

第 11 回新会員歓迎懇親会

October

10月

新会員 30 社を招き開催

2025 年 10 月 6 日、日本ビジネスシステムズ本社内のダイニング「Lucy's Tokyo」にて、2025 年 5 月～10 月に入会の新会員を招き、協会幹部と相互交流を深めていたく懇親の機会をもった。当日は新会員 30 社 55 名、協会幹部・関係者 49 名の合計 104 名が参加した。次回は 2026 年 4 月に開催の予定。



協会幹部との交流を深めた

管理職研修(後半)

October

10月

効果的な期末評価の手法を学ぶ

2025 年 10 月 10 日、同年 5 月に実施した管理職研修「期初・期中編」の後半として、「期末評価・面談編」を実施した。講師はキャリア開発コンサルタントの五十嵐郁一氏。

管理職および管理職候補の参加者が、期末における人事評価やフィードバック面談の手法を、ケース演習やロールプレイングを通じて習得した。研修前半の事後課題として現場で実践した部下指導の成果についても、グループ討議が活発に行われた。

参加者からは「同じ悩みを抱える方々と研修でき、他社の考え方ややり方も学べて有意義だった」「講義に加えてワークがあり、業務への活用イメージが持てた。どんどん実践したい」といった声が寄せられた。参加者同士の学びが相乗効果を生む、実践的な研修となった。



実践につながる
グループワークも実施

米国エグゼクティブツアー

October

10月

AIがけん引する最新 ITトレンドを視察

2025 年 10 月 12 日～18 日、大塚裕司団長（大塚商会社長）と林宗治副団長（ソフトクリエイトホールディングス社長）をはじめとする一行 22 名にて、シリコンバレーエリアの IT ベンダー 9 社 (Cisco Systems、Nutanix、Palo Alto Networks、dotData、Intel、Adobe、Advanced Micro Devices、Hewlett Packard Enterprise、HP Inc.) を訪問した。

このツアーは、会員幹部がシリコンバレーの最新トレンドを把握し、事業へつながる情報交換を行うことを目的に、毎年定点観測する形で実施している。今年もトレンドである AI を中心に、各社の戦略やビジネス動向について最前線の情報を収集できた。

2026 年度の開催は 10 月 11 日～17 日を予定。視察先は検討中。

シリコンバレーの 9 社を訪問



視察レポート

https://www.jcsa.or.jp/tour_index2/

第2回・第3回 New Normal AI Business (NNAB)

October
10月

December
12月

提案可能なAI商材やノウハウを共有

2025年10月20日、2025年度第2回目の「New Normal AI Business (NNAB)」をオンラインにて開催し、57名が参加した。JCSSA会員企業のAIへの取り組みを共有する場で、テーマ1「AIセントリックなERPが拓く、次世代のデータドリブン経営」では、JCSSA理事会のSCSKでPROACTIVE事業本部ソリューションコンサルティング部副部長を務める田中英一氏（写真1段目・左）とPROACTIVE事業本部プロダクトストラテジ部副部長の桑田真吾氏（写真1段目・右）が講師を務めた。テーマ2「基幹業務クラウドベンダーのAI自社活レポート&業務のデジタル化とAI活用で、未来の経営をデザインするPCA Arch」で講師を務めたのは、2025年6月にJCSSA理事に就任したビー・シー・エー常務取締役の玉井史郎氏（写真2段目・左）とイノベーション推進室室長の権藤知伸氏（写真2段目・右）。

2025年12月1日には、第3回目のNNABを日本ビジネスシステムズ本社会議室とオンラインのハイブリッド形式で開催し、104名が参加した。テーマ1「保守事業におけるAI活用事例」で講師を務めたのは、JCSSA理事のNECフィールディング執行役員の笹嶋博之氏（写真3段目）。テーマ2「AI導入で『AI Readyへ』社内実践から得た効率化と未来像」で講師を務めたのは、JCSSA理事のエフサステクノロジーズ取締役の永井哲氏（写真4段目・右）とインフラサービス部門インフラ運用サービス本部第二インフラ運用事業部シニアマネージャーの中島宏樹氏（写真4段目・左）。

動画・資料については会員ページにログイン後、以下のURLをクリックし活動報告をご覧ください。

サービスやデータの連携で
課題を解決

ERPもAI機能がコアに



保守事業もAIで効率化



社内での実践事例を披露



活動報告 <https://www.jcssa.or.jp/memberJCSSA/dl2.php#cloud2025>

第3回クラウド勉強会

October
10月

AIエージェント時代のSIビジネスのあり方とは

2025年10月21日、2025年度第3回目の「クラウド勉強会」をオンラインにて開催し、155名が参加した。テーマは「AIによるエンタープライズITのパラダイムシフト」で、講師を務めたのはJCSSA会員でもある日本オラクルで執行役員クラウド事業統括クラウド・パートナー・エンジニアリング統括を務める吉川顕太郎氏。

大規模言語モデルによる生成AIは技術革新と適用領域拡大が急速に進展しているが、実際にビジネス上の成果を上げられている組織はまだ限定的と言わざるを得ない。AIエージェント時代のエンタープライズITの姿を鑑み、IT業界やSIビジネスにどのようなインパクトがあるのかなどを説明いただいた。

参加者からは、「データを主軸に置いた内容が非常にオラクルらしいと感じた」「生成AI関連の動向を知ることができた」などの意見をいただいた。



オラクルが見るIT業界の今後を解説

第2回 AI & クラウド販売会議

October
10月

生成AI利用時のリスク低減策を紹介

クラウドサービスを提供する会員各社の最新を紹介することを目的とし、2025年10月21日に2025年度第2回目の「AI & クラウド販売会議」をオンラインにて開催し、33名が参加した。テーマは「国産AI・機械学習サービス『Insight Asir (アシリ)』を用いた生成AI時代のデータ保護と利活用」で、講師を務めたのは、本セミナーを主催するAI & クラウド推進委員会の児玉崇副委員長が所属する、インサイトテクノロジー取締役CDO（最高開発責任者）の高橋則行氏。



DX推進の新たな提案機会に

同社が開発した「Insight Asir」を基盤とする「Insight Masking」を主に紹介いただいた。データベース、チャットログ、報告書など構造化・非構造化データを問わず、AIを用いて高精度に個人情報を自動検知し匿名化できる製品で、生成AI活用時の情報漏えいリスク低減や、テストデータ作成時の安全性確保などに活用できる。セキュアなAI利活用とDX推進を可能にする新たな提案機会として、具体的な事例を説明いただいた。

定例セミナー

October

10月

AI提案の説得力を高める

2025年10月22日、JCSSA会員のタッチで代表取締役社長を務める田島秀和氏を講師にお迎えし、「AI提案が刺さる！経営者・現場別アプローチ完全攻略」と題したオンラインセミナーを実施した。

AIツールの導入が進む中、営業現場では「提案が刺さらない」「差別化できな

い」といった課題が浮き彫りとなっている。そこ

で、Microsoft 365エバンジェリストとして豊富な現場経験を持つ田島氏が、経営者・現場責任者・IT部門それぞれに響くアプローチ法を徹底解説した。

成功事例や提案書の工夫を交えながら、AI提案の説得力を高める営業術も伝授し、参加者から実践的なセミナーだったと好評の声を多くいただいた。

経営層や現場にも響く営業手法を解説



ヤマハ見学会

October

10月

音楽とものづくりの魅力を知る

2025年10月30日、JCSSA会員であるヤマハの見学会を開催し、23名が参加した。静岡県浜松市のヤマハ本社内にある「イノベーションロード」は、同社の挑戦の歴史とこれからの歩みを象徴する企業ミュージアムで、参加者は音と音楽、ものづくりの魅力に触れた。

ヤマハは1887年（明治20年）の創業以来、人々の心に響く価値を提案し続けてきた。本社に続いている「ヤマハ掛川工場」では、現代のテクノロジーと、100年にわたり受け継いできた伝統技能によって生み出されるグランドピアノの製造工程を見学した。



100年以上継承される技能を体感

その後の懇親会は平山勉交流促進委員長の挨拶で幕を開け、参加者全員が自己紹介や今回の感想を共有し、和やかな雰囲気の中で大いに盛り上がった。翌日はヤマハレディースオープン開催コースの葛城ゴルフ倶楽部山名コースにてゴルフ交流会を開催し9名が参加した。

ゴルフ交流会

November

11月

晴天の下20組78名が参加

2025年11月3日、相模原ゴルフクラブにて第21回ゴルフ交流会を開催し、78名（20組）の方に参加いただいた。本年度も、プレー後の表彰式および懇親会は実施せず、プレー前にパーティールームにて開会式を行い、名刺交換を通じて参加者同士の懇親・交流を図った。2026年度の開催は11月3日を予定しており、会場については現在検討中。



プレー前の開会式で交流を図った

第2回情報システム取引者育成プログラム基礎講座（前半・後半）

November

11月

一般社員に向けて法務を解説

2025年11月6日（前半）と11月13日（後半）の2日間、2025年度の「第2回情報システム取引者育成プログラム基礎講座～IT取引のリスクと対策～」をオンラインで開催し、180名あまりが参加した。講師を務めたのはブレークモア法律事務所弁護士の伊勢知紘氏。



このプログラムは、情報システム取引の契約で生じるリスクやトラブルを防ぐため、経済産業省が公開している「情報システム・モデル取引・契約書（追補版）」をもとに、公正な契約に必要な法務、契約実務の知識を有する人材の育成を目的としている。

今回の基礎講座では、2020年4月に施行された民法の一部を改正する法律（債権法改正）を反映した新しいテキストにより、情報システム構築に特有の取引プロセスに関する問題点等を明らかにし、ユーザー／ベンダー間の相互においてどのようにトラブルを回避していくべきかを学んだ。なお、2025年度については、より深い理解を目的として、第1回は管理者向け、第2回は一般向けと受講対象者を分けて開催した。

情報システム特有の契約リスクを学んだ

November
11月

営業提案力研修(前半)
「顧客視点」に必要な思考を学ぶ

JCSSA 会員でもあるストラコムの代表取締役の坂本憲志氏より、同氏が数々の外資系 IT 企業において活躍された実績をもとに構築した「営業力強化のための研修プログラム」を実施いただいた。特に編集した 2 日間コースで、2025 年 11 月 7 日に前半を開催した。

「顧客志向の考え方で、どのような提案が顧客にとって受け入れやすいのか」「顧客に迎合するのではなく、真に顧客の成功を考え提案をするにはどんなプロセスが必要か」といった課題について、小手先の技術ではない根本的な考え方を共有し、ワークショップを通じて応用力のあるビジネススキルを学んだ。ビジネスプランの作成や情報分析など、営業管理職にとっても重要な内容が豊富に盛り込まれており、即実践できる内容だった。後半は 2026 年 2 月に開催する。



IT 営業の現場で修得したノウハウを伝授

SAJ × JCSSA 共催
第 165 回 SAJ ビジネスコミュニティ

November
11月

4 社が AI エージェントへの取り組みを紹介

2025 年 11 月 11 日、ソフトウェア協会(SAJ)との共催で、SAJ と JCSSA の会員各社のビジネスマッチングや交流を図る「第 165 回 SAJ ビジネスコミュニティ」を、東京の市ヶ谷健保会館とオンラインのハイブリッド形式で開催した。

プレゼンテーションを行ったのは、オービックビジネスコンサルタント、LegalOn Technologies、ユーザックシステム、ファインディの 4 社。テーマは「AI エージェント」で、各社が製品やサービスの価値を高めるため AI エージェント技術をどのように活用しているかを紹介した。会場では懇親会も開催した。

次回は 2026 年 2 月 10 日に同じハイブリッド形式で開催する。

事業シーズの収集や交流の場となった



November
11月

第 14 回 NIPPON IT チャリティ駅伝
3000 名以上がお台場を快走

2025 年 11 月 16 日、お台場シンボルプロムナード公園のセントラル広場にて「NIPPON IT チャリティ駅伝」(主催: 同実行委員会) が開催された。JCSSA が協力しているイベントで、会員企業がスポンサーとして名を連ねているほか、ランナーとしても多数の関係者が参加した。

621 チーム 3105 名のランナーに加え、300 名を超えるボランティアスタッフ、応援ギャラリーなど計 5000 名以上の方が来場した。競技結果、個人のタイム等は公式ホームページに掲載されている。

第 15 回は 2026 年 11 月 15 日に開催が決定している。



林会長もランナーを激励

☑ 競技結果 <https://www.nit-run.com/>

November
11月

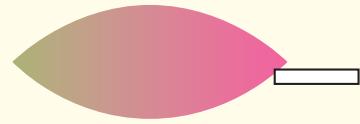
役員合宿
熊本で半導体工業団地など見学

2025 年 11 月 28 日～29 日に熊本県で、役員・関係者 50 名が参加する合宿を行った。半導体工業団地の見学後、「好奇心が拓く新風景～Bad News is Good News～」と題し、ジー・ピー・アイ会長の岩崎哲夫氏より講演いただいた。懇親会では新規会員獲得ランキングの発表などを行った。翌日はオプションとして、ゴルフ交流会、熊本県内視察、海釣り交流会を開催し、より一層交流を深めた。

2026 年度の開催は 11 月 27 日～28 日を予定しており、場所は検討中。

協会関係者 50 名が参加





ダイバーシティ推進フォーラム 2025

多様な人材活躍の風土を

JCSSA コミュニティ委員会・セミナー委員会は 2025 年 11 月 6 日、「ダイバーシティ推進フォーラム 2025」を開催し、多様な人材の活躍について有識者や会員企業の当事者らが意見を交わした。会員企業への調査結果を公表したほか、基調講演ではグローバルと日本で女性の社会進出に差が生まれている点を解説。パネルセッションでは働きやすい環境づくりの取り組みを示した。

フォーラムは IT 業界での多様な人材活躍の推進を目的に企画し、2024 年に続いて 2 回目。今回のテーマは「多様な人材が自分らしく活躍できる、これからの企業の在り方とは?」とし、企業風土づくりの考えを深めた。

会員企業の従業員 407 人が回答した女性活躍に関する調査結果について奥田芳恵理事（BCN 代表取締役社長）が説明し、若年層の価値観や、管理職と一般社員の認識の違いを解説した。働きがいを答える設問には、全体では「お客様や社会の役に立っていること」との回答が 61.4% で最も多かったが、20 代・30 代だけを見ると「給与・報酬が高いこと」の割合が最も高かった。また、管理職に「なりたくない」一般社員が 56.2% と高水準になり、「プライベートとの両立困難」「自信不足」が背景にあることが分かった。管理職に「なりたいが自信がない」一般社員も 20.9% を占めた。現職の管理職の働き方改革や、一般社員への伴走支援が必要と提言した。

24 年に続いて講演した羽生プロの羽生祥子社長は、日本の女性が世界で最も有償労働時間が長いにもかかわらず、男性の 5.5 倍の家事時間をこなしているとのデータを示した。一方で男性も長時間労働に陥っており、家事や育児に時間を割いていないという。

その上でダイバーシティ経営は「やらなければリスク、やればメリットの時代になった」と強調。ダイバーシティ経営に取り組む企業は財務データもよく、投資家から評価を受ける



奥田芳恵 理事



羽生プロ
羽生祥子 社長

ことができるとした。また、女性の活躍が企業パフォーマンスを向上させるとして製造業の特許取得に関するデータを紹介。発明者が男性のみの特許に比べて男女が関わっているほうが、経済的価値が高いという。若年層を中心に価値観が多様化する中で、多様性を受け入れることで人材確保にもつながるとした。

パネルセッションには羽生社長と、会員企業から 4 人が登壇し、さまざまな人材が活躍できる企業のあり方をひもといた。

ミラクルソリューション代表取締役の長岡路恵氏は、自身が文系出身でエンジニアになった経験を踏まえ、本人の努力次第で社会進出の道が開けると説いた。社内の取り組みでは、育児休暇の取得を積極的に促し、東京都からライフ・ワーク・バランス企業として認定されたことを紹介した。

庚伸取締役社長室長の宮澤慧丈氏は、育児休業などで社員が抜ける際の穴をどうフォローし合うかが現実的な課題だとした。女性活躍については家事負担に言及。共働き率が高い台湾で家事を外注している事例を挙げ、家庭内外での分担の可能性も考えるべきだと語った。

子育てしながらの働き方について、インテルでビジネス・ディベロップメント・マネージャーを務める高木博子氏は、営業職は時間の調整にメリットがあり両立しやすいと話した。リコージャパン デジタルサービス営業本部マーケティングセンターの鈴木大紀氏も周囲に仕事をお願いすることがある半面、「限られた時間で成果を出すためにモチベーション高く働けている」と手応えを語った。

管理職になりたいが自信がない社員が多いという調査結果については「自分がどうしたいか分からず、不安になっているのでは」（高木氏）という声があった。不安の解消には管理職に関する情報を得ることで「今の自分に何が足りないか理解できる」（鈴木氏）との意見が出た。宮澤室長は「失敗しても大丈夫だという風土をつくることが大事」とし、制度設計や声掛けでのフォローを提案した。



（左から）ミラクルソリューションの長岡路恵氏、庚伸の宮澤慧丈氏、インテルの高木博子氏、リコージャパンの鈴木大紀氏

第2回セキュリティセミナー

December

12月

ランサムウェア対策は経営層の課題

2025年12月5日、八雲法律事務所の弁護士・山岡裕明氏をお迎えし、「事業継続を脅かすランサムウェアの実態と対策」と題したオンラインセミナーを開催した。昨今急増しているランサムウェアは、情報漏えいに留

まらず事業継続を脅かすほどの被害を引き起こしており、企業にとってもはや看過できないリスクとなりつつある。そのような中で、ランサムウェアは「技術部門が取り組む問題」から、ガバナンスの観点から全社的に取り組

むべき「組織の問題」へと移行しており、「組織の問題」であるからこそ、経営層の役割が重要になると説いた。具体的な事例も非常に理解しやすい内容で、参加者から「もっと聞きたかった」という声が多く聞こえた。

New Member!

月別社名五十音順
協会代表者役職名 / 氏名

October

10月



クアルコムシーディーエムエーテクノロジーズ有限会社

<https://www.qualcomm.com>

統括本部長 井田 晶也



ケイ・アイシステム株式会社

<https://www.ki-system.jp/>

取締役 山本 順一



日本情報システム株式会社

<https://www.njs-net.co.jp/>

代表取締役 肥沼 佑樹



株式会社フリー・スタイル

<https://www.f-style.info/>

代表取締役 西野 哲治

November

11月



株式会社 DIK&Company

<https://excelcamp.jp/>

代表取締役 中田 元樹



Pipeline 株式会社

<https://www.ppln.co/>

代表取締役社長 渡辺 アラン



株式会社ビー・シー・シー

<https://www.bcc-ltd.co.jp/>

取締役 営業部部長 前田 明子



株式会社ログビー

<https://logbii.co.jp/>

代表取締役 松田 敦義



ジョーシス株式会社

<https://www.josys.com/jp>

チャネル営業統括部 副統括部長 田中 毅



セイ・テクノロジーズ株式会社

<https://www.say-tech.co.jp/>

セールス・マーケティング部 部長 下田 悠治



株式会社ステラリンク

<https://stellarlink.co.jp/>

代表取締役社長 前田 康宏



発注ナビ株式会社

<https://hnavi.co.jp/>

営業部 第1SDチーム長 田中 宏樹



株式会社 VILUCK WORK

<https://viluck-work.co.jp/>

代表取締役 吉村 秀也



株式会社 LITORY

<https://litory.jp/>

代表取締役 平田 圭

January

1月

AI & クラウド推進委員会ゴルフ交流会

日時 1月 10 日 (土)

場所 袖ヶ浦カンツリークラブ 袖ヶ浦コース
千葉県千葉市緑区辻田町567番地

新春セミナー・賀詞交歓会

詳細・お申込み <https://www.jcssa.or.jp/seminar1/?semild=202512020001>

日時 1月 27 日 (火) 15:30-19:00

場所 帝国ホテル
東京都千代田区内幸町 1-1-1

February

2月

SAJ × JCSSA 共催 第 166 回 SAJ ビジネスコミュニティ

詳細・お申込み <https://forms.office.com/r/ELPDrRKax3>

日時 2月 10 日 (火) 15:00-17:00

場所 ハイブリッド開催 市ヶ谷健保会館
東京都新宿区市谷仲之町4-39 | Zoom ウェビナー

営業提案力研修～顧客提案力・営業力強化研修～ 後半

日時 2月 20 日 (金) 9:30-18:00 懇親会 18:15-19:45

場所 市ヶ谷健保会館
東京都新宿区市谷仲之町4-39

関西新春交歓会

お申込み <https://forms.office.com/r/iq0JkA8C8Y>

日時 2月 27 日 (金) 17:00 - 19:00

場所 ザ・リッツ・カールトン大阪
大阪市北区梅田 2-5-25

March

3月

3月度定例セミナー

日時 3月 4 日 (水) 16:00-17:00

場所 Zoom ミーティング

中部交流会

日時 3月 23 日 (月) 15:00-19:00

場所 バッファロー 名古屋本社
名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル 9F

木もれ日の中であったり

理事 金成葉子

基本的にまったりが大好きで、それが私のエネルギー復活の源です。とはいってもゴロゴロではなく、ガーデニング、庭いじりで無心に動き回ったりしています。

春が訪れる前の冬山荘での枝ひろいは、癒しとはほど遠い重労働です。いつの間にか汗だく。それでも——お手入れしたお庭を眺めながら、暖炉のそばでのハイボール一杯は最高！ 夏は木もれ日の中、ランチとワインであったり。

自分が癒されることは、きっ



ガーデンファームまで開き、社員を巻き込んでみんなで“木もれ日の中であったり”を楽しんでいます。

JCSSA事務所のご案内

〒 100-6208

東京都千代田区丸の内 1-11-1
パシフィックセンチュリープレイス丸の内 (受付13階)

TEL:03-6860-8254



JR「東京駅」京葉線連絡 徒歩4分
JR「東京駅」八重洲南口 徒歩5分
東京メトロ銀座線「京橋駅」 徒歩5分